



株主通信

第16期 2017年4月1日 2018年3月31日



第五期中期経営計画に掲げる 基本方針に基づき、 基盤固めと成長への種まきを行いました

代表取締役社長執行役員

八馬 史尚

当期の概況

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第五期中期経営計画のスタートとなった当期は、日本経済全体としては概ね順調であったと認識しております。当社は、第五期中期経営計画に掲げた基本方針の成長戦略と構造改革に基づき、油脂・育成領域での高付加価値品の拡大やお客様の課題やニーズに対応したソリューション事業の強化、バリューチェーンの効率化・高度化の取り組みを推進し、各事業において選択と集中を着実に実行することで収益力の強化に努めました。

製油以外の粉末油脂、業務用マーガリン、スターチ事業は3期前は赤字でしたが黒字化後も増益を継続し、ケミカル事業の増益や赤字事業の整理と合わせ製油以外の事業で23億円の改善を達成しており、利益を創出する基盤が構築されつつあることは、大きな成果と捉えています。

しかしながら、原料・為替及び物流費、原燃料費や人件費等によるコスト上昇に対して、汎用油脂製品の価格の改定に取り組み一定の成果は得られたものの、目指す

水準までには至りませんでした。

以上の結果、2017年度（2018年3月期）の連結業績は、売上高1,833億61百万円（前期比1.7%増）、営業利益40億5百万円（同26.8%減）、経常利益51億37百万円（同11.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益41億27百万円（同26.6%増）となりました。

売上については、油脂・油糧共に前年度を上回る実績を上げることができた一方、油脂価格改定が目標水準に至らず、営業利益、経常利益ともに減益となりましたが、当期純利益は、資産効率化による株式売却等により増益となりました。

なお、1株当たりの年間配当は、安定的で適正な利益配分を行う基本方針の下、前期同様の90円といたしました。

次期の見通し

2018年度は、第五期中期経営計画に掲げる基本方針を堅持し、2020年の目標実現に向け大きく前進する一年にしていきたいと思っております。

成長戦略については、高付加価値品の拡大やソリュー

シジョン事業強化、そして海外事業展開の加速に向けての足場作りに重点をおき、経営資源を集中し強化を図ります。また、汎用油脂製品の収益力強化については、前期の油脂価格改定効果が寄与する事、原料代とミール価格から油脂コストに改善が見込まれる事による採算回復を図ります。

構造改革については、バリューチェーン全体での効率化高度化、事業・商品の選択と集中及び効率化、生産拠点最適化の推進により全体視点での効率化を進めてまいります。

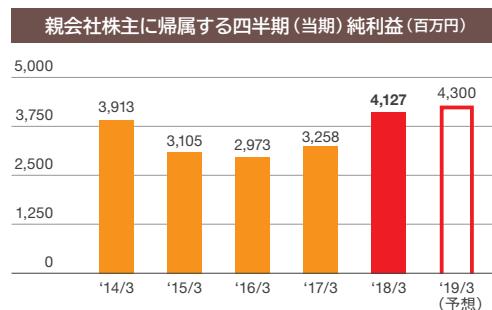
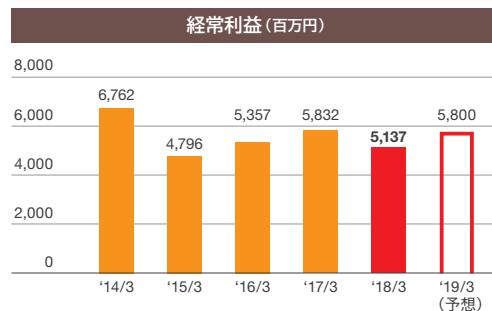
これらを支える経営基盤強化策として、人事制度改定や働き方改革、人財多様化、ガバナンス強化、品質保証体制強化、情報システム強化を進めております。

以上により、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,920億円、営業利益55億円、経常利益58億円、親会社株主に帰属する当期純利益43億円を見込んでおります。

持続的な成長実現に向けた 組織再編・セグメント体系変更

第五期中期経営計画を一層加速し、持続的な成長を確実なものにするために、この7月から会計上のセグメントと組織体制を変更します。従来の「製油事業」・「その他事業」の2事業区分から、「油脂事業」・「油脂加工品事業」・「食品・ファイン事業」・「その他事業」の4事業区分に変更し、セグメント別の事業本部と、横断的に支える機能組織の体制に再編することで、成長を更に加速してまいります。

上記施策を着実に遂行することで、お客様に喜んでいただける価値の創造、社会への貢献が実現できるよう努めてまいりますので、株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



新商品 Navi

「油を究めて幸せを創る2020」

「あぶら」を究めて、心動かすおいしさを創造する
おいしさデザイン企業へ

をテーマとして第五期中期経営計画を推進しています。
ここでは、中期経営計画実現に向けて開発された
新商品をご紹介します。



長調得徳® シリーズ 16.5kg缶／8kgバッグインボックス

発売:2018年3月

長く使えてカラッと揚がる「長調得徳®」シリーズ
をリニューアルしました。「TEE UP®製法」が「TEE
UP®製法PLUS+」に進化し、更に加熱に強く、長持ち
するようになりました。油の着色は一般的な油と比べ
て平均3割抑制し、油の使用量削減に貢献します。



J-OILPRO® プロのための調味油

グリルオイル 1,000gエコボトル

発売:2018年3月

オイルならではの香りとコクでおいしさをデザインする
ブランド「J-OILPRO® プロのための調味油」シリーズ
に新たに「グリルオイル」が加わりました。直火の強い
炎で焼いたような香ばしさとお肉を焼いたときに感じる
うまみを増強し、プロが調理した本格的なおいしさを
再現できます。



ラーマ オリーブ&バター の風味 140g



発売:2018年3月

パンに合うオリーブオイルの風味にこだわった、
オリーブオイル入りのスプレッドです。フルーティ
なオリーブオイルの風味とバターのおいしい
ハーモニーで、毎日のパン食に新しいおいしさを
提供します。

AJINOMOTO

オリーブオイル オリーブオイルエクストラバージン

発売:2018年2月下旬から順次



150g鮮度キープボトル / 300gペット / 600gUDエコペット

「かける」といった用途や使用メニューが広がり、順調に購入者層を広げている「オリーブオイル」シリーズのラインナップを強化しました。軽くて使いやすい「ペットボトル」、開封後も中身の油が空気に触れにくく、風味を維持することができる「鮮度キープボトル」を加えることで容器、容量の選択の幅が広がりました。



AJINOMOTO

えごまブレンド油

200g瓶 発売:2018年2月下旬



香ばしく加熱に強いコーン油とオメガ3 (n-3系脂肪酸) たっぶりのえごま油をブレンドしているので、炒めものなどの加熱料理からドレッシングのベースや副菜等にそのままかけた非加熱での使用まで、幅広くお使いいただけます。

開発者 Interview

1日の始まりはラーマを使った朝食から

研究本部
商品開発研究所 第三研究室
松嶋みゆき

いい朝の、いい時間のそばに、フルーティなオリーブオイルの風味とバターを掛け合わせた「ラーマ オリーブ&バターの風味」を開発しました。

まずは、パンやバターに合うオリーブオイルの風味とは何かを考え、研究所のオリーブオイルソムリエの資格を持つスタッフと、バターと相性のよいオリーブオイルを選びました。

苦味や辛味の強いオリーブオイルより、フルーティでマイルドなオリーブオイルがバターの風味と相性が良く、また飽きずに食べ続けやすいため、あえてオリーブオイルの風味を抑え、フルーティでクセのない風味に仕上げました。

原料油脂中にオリーブオイルを30%配合し、オリーブオイルの風味だけではなくバターの風味をプラスすることで、食べやすい風味になり、大人から子供まで毎日の朝食で食べたくなるように工夫しました。オリーブオイルのことをよく知っている当社ならではのこだわりの詰まった「ラーマ オリーブ&バターの風味」をぜひお試しください。



「日本最古のオリーブ樹の保存」 「神戸オリーブ園復活プロジェクト」 の取り組みを支援しています

神戸は、明治12年に「国営神戸オリーブ園」が設置され、わが国初のオリーブ栽培とオリーブオイルの搾油に成功しました。その後、オリーブ生産は途絶えましたが、神戸市内の湊川神社には日本最古といわれる樹齢百数十年のオリーブ樹が現存しています。

神戸と当社のゆかりは深く、旧事業会社であった吉原製油は1973年に神戸工場を竣工し、現在も操業を続けています。また、同じくホーネンコーポレーション（豊年製油）を設立した鈴木商店創業の地でもあります。

当社は日本最古のオリーブ樹の保存と後継樹の育成、オリーブ園復活プロジェクト支援による耕作放棄地対策と農業振興、技術協力等に取り組んでいます。

同プロジェクトでは、神戸市押部谷の約8,000㎡の土地にオリーブ200本の試験栽培を開始し、栽培技術の蓄積を行いながら、オリーブ園の復活を目指します。



湊川神社境内にある
日本最古のオリーブ樹



神戸市押部谷にある
オリーブ園



モニュメント除幕式

3月3日（土）、同プロジェクト代表の中村直彦氏、中西テツ神戸大学名誉教授、当社執行役員宮川愛浩らが出席しオリーブ植樹祭が行われました。当社はオリーブ園復活を記念してモニュメントを作成・進呈し、除幕式に参列しました。



会社概要

商号	株式会社J-オイルミルズ J-OIL MILLS, Inc.
本社所在地	〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー TEL: 03-5148-7100 (代表)
創立	2004年7月1日
資本金	100億円

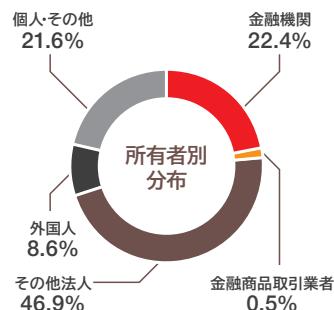
役員 (2018年6月29日現在)

代表取締役社長執行役員	八馬史尚
取締役兼専務執行役員	善当勝夫
取締役兼専務執行役員	近藤邦彦
取締役兼常務執行役員	松本英三
取締役兼執行役員	立見健一
社外取締役	栃尾雅也
社外取締役	遠藤陽一郎
社外取締役	今井靖容*
社外取締役	新宅祐太郎*
社外監査役 (常勤)	塩田良晴
監査役 (常勤)	吉田 哲
監査役	野崎 晃
社外監査役	池谷修一*

*独立役員

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	54,000,000株
発行済株式総数	16,754,223株
株主数	21,754名



大株主 (2018年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
味の素株式会社	4,526	27.1
三井物産株式会社	2,087	12.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	447	2.6
東京海上日動火災保険株式会社	414	2.4
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	411	2.4
J-オイルミルズ取引先持株会	334	2.0
株式会社みずほ銀行	271	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	271	1.6
農林中央金庫	270	1.6
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	247	1.4

(注) 出資比率は自己名義株式80千株を控除して計算しています。

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末:3月31日 / 中間:9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://irj-oil.com (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式に関するお問い合わせ先

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

お取引の証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない場合 (特別口座)

三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

0120-232-711

マイナンバー制度に関する
お手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

このため、株主さまからお取引の証券会社等へマイナンバーのお届出をお願い致します。

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合

お取引の証券会社へ
お問合せください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない場合 (特別口座)

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問合せください。

第16回定時株主総会決議ご通知

2018年6月29日（金）の当社第16回定時株主総会におきまして、次のとおり報告および決議がなされました。

報 告 事 項

第16期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）事業報告、連結計算書類および計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決 議 事 項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、第16期期末配当金は、普通株式1株につき45円と決定いたしました。

第2号議案 取締役9名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、八馬史尚、善当勝夫、近藤邦彦、松本英三、立見健一、栃尾雅也、今井靖容、新宅祐太郎の8氏が再任され、遠藤陽一郎氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

配当金のお支払いについて

第16期の期末配当金は、1株につき45円と決定いたしましたので、同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局（銀行代理業者）にて、払渡期間内（2018年7月2日から2018年8月3日まで）にお受け取りください。

また、振込をご指定の方は、同封の「配当金振込先ご確認のご案内」により、ご指定口座への入金をご確認ください。

株式会社J-オイルミルズ

〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー
TEL:03-5148-7100（代表） FAX:03-5148-7107

<http://www.j-oil.com/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

